

カレッジ通信

編集・発行
東京建築
カレッジ

見学会は
5月29日（金）
午後1〜5時
江東実習場で！

全員が理解するまで学習は続く！

数学が苦手な1年生向けに特別補習も



東京建築カレッジに入
学すると、すぐに全9日
間の集中授業が始まりま
す。道具箱作りや手道具
の手入れの仕方から始ま
る実技の一方、学科が約
半分を占めています。そ
の多くの授業で中学・高
校レベルの数学が、建築
職人には必要であること
を強調されます。

「建築測量基礎（建設
職人の数学講座）」では、
分数の加減乗除、図形を
見ながら相似を見つけて
角度や長さの算出に利用
していくやり方から分か
りやすく授業が進みます
が、「久しぶりの数学は
楽しかった」という声の
一方、「素因数分解、めっ
ちゃ難しかった」「つい
ていくのが大変」とい
う反応が複数
出ていました。

そこで、学校で
は橋本先生のご指
導の下、4月17日
に数学の学力テス
トを実施しました。
結果は、満点が
3人いたものの、
10人が基準点以下。
全員がわかるまで
教えようと西岡貴
之教務部長を講師
に、居残り補習が
行われました。設
問はすべて中学数

学の初歩ですが、問題に
よっては、なかなか正解
に至らない学生も。する
と補習の仲間同士の教え
あいが始まりました（写真）。「全員ができるま
で教える」（橋本英夫統
括指導員）カレッジの姿
を印象づけるものでした。

2年生は「廻り階段」



2年生の4月の実習は、
これまでに習得した技量
を試す「廻り階段」です。
指導員の先生によると、
「課題としては難しいほ
うになる」。チームを組
んで、大きな造作に取り
組む中で、自分が至らな
いところを発見した研修
生もいました。「墨付け、
刻み、少しずつずれて、
最後にうまく入らなくて

カレッジ生インタビュー！ 片道2時間半かけて桧原村から登校！ 20期生 小林陸仁さん（25歳・大工）に聞く。カレッジの魅力とは！？



組合費の集金時
に大工の先輩から
誘われたのが入学
のきっかけです。
遠距離通学になる
ので悩みましたが、
大工をしている兄
から「若い時に勉
強したほうがいい」

と言われ決心。朝
四時半起床で通っ
ています。五日市
駅までは車で40分
なんですよ。
本当に入って良
かった！現場で学
べないことばかり
同世代の仲間と
の交流も楽しい
です。とても充
実した毎日を通
過しています。

悔しかった。
廻り階段はまもなく
終了。実習は「型枠・
鉄筋」という新しい課題
が始まります。

盛り上がった新入生歓迎会！

4月25日、授業終了後、新入生歓迎会が行われました。2
年生が運営を担当。各年次の出し物を、先生方と一緒に楽し
みました。励ましあい、交流しながら学べるカレッジの
魅力がはじけるイベントでした。

